

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	道徳教育の理論と実践 (Theory and Practice of Moral Education)		
ナンバリングコード	K20706	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 後期
必修・選択区分	教職関係科目(必修): 中学校教諭一種免許状(社会) 教職関係科目(選択): 高等学校教諭一種免許状(工業、情報以外)		
授業コード	K006551	クラス名	-
担当教員名	藪内 聡和		
履修上の注意、履修条件	教職に就こうという強い意思をもって履修してください。 この授業では、受講者の積極的な発言による参加が重要です。		
教科書	相澤・神代『道徳教育のキソ・キホン』、ナカニシヤ出版、2018年。 文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』、教育出版、2018年。		
参考文献及び指定図書	文部科学省『中学校学習指導要領』、東山書房、2018年。		
関連科目	哲学概論A・B、倫理学概論A・B		

○授業の目的・概要等	
授業の目的	中学校では、全ての教育を通じて道徳教育を行うと同時に、それを補充・深化・統合するために特別の教科道徳が設置されています。この授業では、教職に就こうとする学生が、道徳教育の指導をするために必要な知識・技能等を学ぶことを目的として、道徳教育の理論と実践を考察します。
授業の概要	道徳の本質、道徳教育の歴史、道徳性の発達、道徳の学習指導要領、道徳の指導法等を学び、模擬授業をすることによってまとめとします。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング グループワーク 他
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	高等学校公民科嘱託講師 高等学校で嘱託講師として4年間、公民科の授業を担当した。

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	道徳教育の本質・目的に関心が持てる。	30点		
【知識・理解】	道徳教育の歴史を理解できる。	30点		
【技能・表現・コミュニケーション】	道徳教育の方法を習得できる。		20点	
【思考・判断・創造】	道徳教育の授業ができる。			20点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
期末試験60点+学習指導案作成20点+模擬授業20点=計100点で評価します。 模擬授業の学習指導案については、次回以降の授業中に講評・解説を行います。

○その他

2020年度 授業シラバスの詳細内容

<p>○授業計画 科目名：道徳教育の理論と実践（Theory and Practice of Moral Educa 授業コード：K006551 担当教員：藪内 聡和</p>	<p>○授業計画 科目名：道徳教育の理論と実践（Theory and Practice of Moral Educa 授業コード：K006551 担当教員：藪内 聡和</p>
<p>学修内容</p>	<p>学修内容</p>
<p>1. 道徳の本質とは何か 道徳教育を勉強するにあたって、そもそも道徳とは何か、道徳理論の本質と基礎を学びます。</p>	<p>9. 道徳教育の指導方法1 モラルジレンマ 道徳教育の授業の教育方法をモラルジレンマ理論を中心として学びます。</p>
<p>予習：『道徳教育のキソ・キホン』2－11頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容をノートにまとめてください。(約2.0h)</p>	<p>予習：『道徳教育のキソ・キホン』、35－37頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容をノートにまとめてください。(約2.0h)</p>
<p>2. 戦前の道徳教育の歴史 戦前の道徳教育はどのように行われてきたのかを修身科と教育勅語の内容を中心として学びます。</p>	<p>10. 道徳教育の指導方法2 価値の明確化 道徳教育の授業の教育方法を価値明確化の理論を中心として学びます。</p>
<p>予習：『道徳教育のキソ・キホン』、24－25頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容をノートにまとめてください。(約2.0h)</p>	<p>予習：『道徳教育のキソ・キホン』、37－38頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容をノートにまとめてください。(約2.0h)</p>
<p>3. 戦後の道徳教育の歴史と道徳教育の課題 戦後の道徳教育の歴史とその課題を学びます。</p>	<p>11. 道徳教育の資料の活用方法 道徳教育で資料をどのように利用するかを、実際の学習指導案を参照しながら学びます。</p>
<p>予習：『道徳教育のキソ・キホン』、25－27頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容をノートにまとめてください。(約2.0h)</p>	<p>予習：『道徳教育のキソ・キホン』、58－80頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容をノートにまとめてください。(約2.0h)</p>
<p>4. 子どもの心と道徳性の発達1 ピアジェ コールバーグ 子どもの道徳性の発達を、ピアジェとコールバーグの理論を中心として学びます。</p>	<p>12. 学習指導案の作成方法 道徳教育の授業の学習指導案の作成方法を学びます。</p>
<p>予習：『道徳教育のキソ・キホン』、12－17頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容をノートにまとめてください。(約2.0h)</p>	<p>予習：『道徳教育のキソ・キホン』、46－57頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容をノートにまとめてください。(約2.0h)</p>
<p>5. 子どもの心と道徳性の発達2 社会性の発達 子どもの道徳性が発達するにつれてどのように社会性を身に付けていくかを学びます。</p>	<p>13. 生徒の学習状況や道徳性の発達の評価方法 道徳教育では、生徒の学習状況や、道徳性の発達状況をどのように評価するかを学びます。</p>
<p>予習：『道徳教育のキソ・キホン』18－23頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容をノートにまとめてください。(約2.0h)</p>	<p>予習：『道徳教育のキソ・キホン』、38－43頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容をノートにまとめてください。(約2.0h)</p>
<p>6. 学習指導要領における道徳の目標 「特別の教科 道徳」の学習指導要領を読み解きながら道徳教育の目的を学びます。</p>	<p>14. 模擬授業の実施 学習指導案を作成の上、道徳教育の模擬授業を実践してもらいます。</p>
<p>予習：『道徳教育のキソ・キホン』、27－31頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容をノートにまとめてください。(約2.0h)</p>	<p>予習：模擬授業のための学習指導案を作成してください。(約2.0h) 復習：学んだ内容をノートにまとめてください。(約2.0h)</p>
<p>7. 学習指導要領における道徳の内容 「特別の教科 道徳」の学習指導要領を読み解きながら道徳教育の内容を学びます。</p>	<p>15. 模擬授業の反省 道徳教育の模擬授業の反省会を行います。</p>
<p>予習：『道徳教育のキソ・キホン』、31－32頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容をノートにまとめてください。(約2.0h)</p>	<p>予習：模擬授業の反省をまとめてください。(約2.0h) 復習：学んだ内容をノートにまとめてください。(約2.0h)</p>
<p>8. 道徳教育の年間計画の立案 学校で道徳教育の年間計画を立案するに際して、指導計画上の配慮事項を学びます。</p>	<p>16. 期末試験</p>
<p>予習：『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』、70－75頁を読んでください。(約2.0h) 復習：(約2.0h)</p>	<p>予習：学んだ内容をまとめ試験勉強をしてください。(約2.0h) 復習：(約2.0h)</p>